

一般社団法人 INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会

INSPIRE JAPAN WPD – The Japanese Association for Public Awareness of Psoriasis

設立趣意書

このたび乾癬の一般認知度向上と正しい情報の啓発普及のための活動を行うことを目的として「一般社団法人 INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会（INSPIRE JAPAN WPD – The Japanese Association for Public Awareness of Psoriasis）」を設立しました。

乾癬は慢性・非伝染性で、見た目の悪さや機能障害をとめない、現時点で根治治療がなく、身体的および精神的 QoL*に重大な影響を及ぼす疾患です¹⁾。日本では 50 万人以上の人々が乾癬に罹患していると推計されています²⁾。さらに乾癬のある人の家族などを含めると数百万人の人が乾癬に苦しめられていることとなります。一般の人々における乾癬の疾患名認知率は 29.2%にとどまり、水虫（95.6%）やアトピー性皮膚炎（91.0%）などの他の皮膚疾患と比較して極めて低く、乾癬について「疾患名だけでなく知識もある」と回答した人の割合は 11.5%であったという調査結果が公表されています³⁾。また、乾癬は「かんせん」という読みからうつる病気（＝感染症）であるとか、その見た目から不衛生が原因であるなどの誤解や偏見が生じています。

このような現状の中で乾癬のある人々、とりわけ若い世代の人々では低い自尊感情やネガティブな自己イメージから周囲の人に相談できずに孤独感や疎外感を感じる事が多く、実際に社会から孤立してしまうことで学校生活、就職、結婚・出産などのライフイベントを通しての社会参加がしづらくなってしまっている人もいます。乾癬が身体的、精神的および社会的に極めて深刻な疾患であるという認識を広め、乾癬に関する誤解や偏見を払拭して、乾癬のある人々とその家族などが暮らしやすい社会を実現するために、乾癬の一般認知度を向上させるとともに、乾癬に関する正しい情報を啓発普及することが急務です。

そこで私たちは 2017 年 6 月に全国の乾癬患者会の有志 6 名で INSPIRE JAPAN WPD プロジェクトチームを結成し、乾癬の一般認知度を向上させることと乾癬と孤独に闘っている特に若い世代の人々をつなぐことを目的に、日本で初めての乾癬のある人々による一般社会へ向けた乾癬啓発イベント”INSPIRE JAPAN WPD 2017”を 10 月 29 日の世界乾癬デーに東京タワーで成功させました。”INSPIRE JAPAN WPD 2017”に関する詳細は報告書（<http://www.inspirejapan-wpd.net/event/event-report/709>）をご覧ください。私たちは今後もこのような一般社会へ向けた啓発普及活動を積極的且つ継続的に展開し、乾癬で苦しむ人がいない世界をめざしてまいります。

*QoL = Quality of Life（生活の質）

- 1) Global report on Psoriasis, World Health Organization, 2016
- 2) 照井正, 中川秀巳, 江藤隆史, 小澤明: 健康保険組合レセプト情報を利用した乾癬の実態調査. 臨床医薬, 30(3): 279-285, 2014
- 3) ヤンセンファーマ株式会社プレスリリース: 10 月 29 日は「世界乾癬デー」, 2011.10.18

2018 年 4 月 2 日
一般社団法人 INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会
Chairman & International Affairs 奥瀬 正紀
Vice Chairman & General Affairs 田中 政博
Secretary General 添川 雅之
Strategic Marketing Director 大蔵 由美
Public Relations & Communications Director 角田 洋子
Finance Director 山下 織江